

安心でストレスフリーの生活

平成17年2月からご入居された

古嶋 慶子様

62歳のときにご入居された古嶋様。ご入居のきっかけは、61歳の時に子宮癌の手術を受けられ、主治医の先生から『なるべくストレスのかからない生活を心がけるように』と言われたことだそうです。

家業の運送業の手伝いで、トラックでの納品や経理業務など、精力的に働かれています。突然の病気に「まさか自分が癌になるなんて、思ってもみなかった」と話されます。当時は「どうして自分が…」この先どうなるのか…」と不安な日々が続いたそうです。

主治医のアドバイスを受け、すぐに【安心して生活できる場所】を探していたところ、「電気ご利用量のお知らせ」に載っていた広告が目にとまり、グランガーデン熊本を知ったそうです。それから、すぐに問い合わせ、ここなら安心した生活ができると確信され、退院から2か月というスピーディーな入居を決断されました。

ご入居前は、一軒家に一人暮らしをされていたそうですが、女性の一人暮らしとい

うこともあり、夜中に外で物音がするだけでも気が張ってしまったり、なかなか寝付けなかったり、大雨や台風のために、近くの川の氾濫を心配したりと、生活の中でストレスになっていることが多かったそうです。

「グランガーデンは、セキュリティがしっかりしているから、不審者が入ってくることもないし、災害や緊急のときも24時間スタッフが対応してくれるから安心して眠れます。熊本地震の時も、1日3食ちゃんと食事が取れて、食事に困ることもなく、本当にグランガーデンに入居してよかったと思いました」と話してくださいました。

ご入居後は、コーラスサークルに参加されるなど、アクティブに活動されている古嶋様。一番の楽しみは、ご入居者同士で集まっておこなうトランプだそうです。今はコロナ禍で、休止していますが、早く再開したいと、楽しみにされています。

「実は、子宮癌が分かった当時、余命半年と言われていたんです。治療後、グランガーデン熊本で、ストレスなく生活ができていたからこそ、病気から17年たった今も元気で過ごせているんだと思います。当初は、60代で入居するのは早すぎるかな、とも思いましたが、若かったからこそ、たくさん楽しみがありました。よく、『元気なうちは施設なんて』という方もいますが、グランガーデンは立地がいいので、買い物や旅行など、元気に動いて回れるからその楽しみがたくさんあります。外に出るのがおっくうになってから入居したのではもったいない施設ですよ。」とお話してくださいました。

